

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】



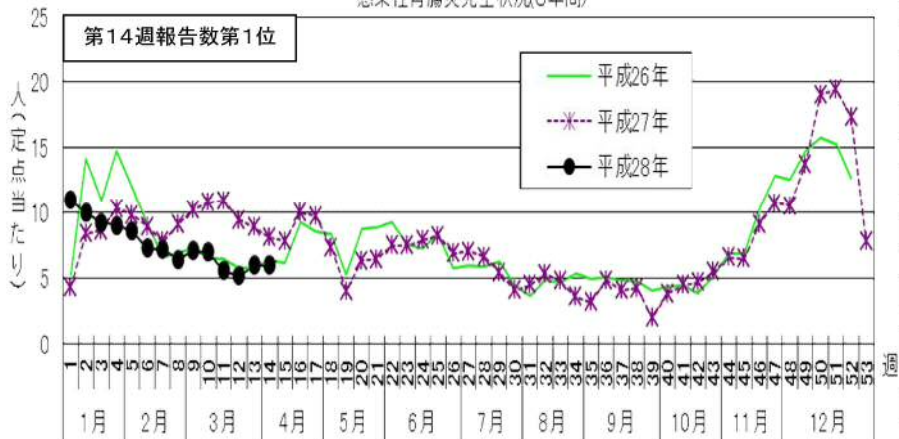
KAWASAKI CITY



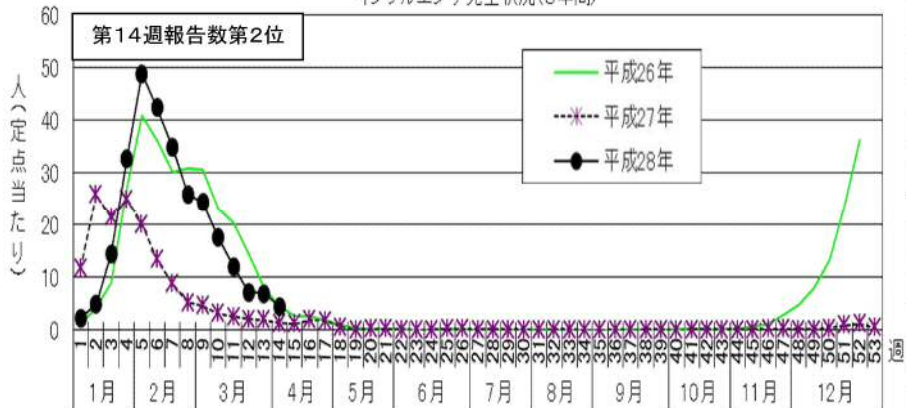
平成28年4月4日（月）～平成28年4月10日（日）〔平成28年第14週〕の感染症発生状況

第14週で定点当たり報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) インフルエンザ 3) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎でした。感染性胃腸炎は定点当たり患者報告数は5.97人と前週（5.94人）から横ばいで、例年より低いレベルで推移しています。インフルエンザは定点当たり患者報告数は4.49人と前週（6.91人）から減少し、例年並みのレベルで推移しています。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は定点当たり患者報告数は1.86人と前週（1.88人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。

感染性胃腸炎発生状況(3年間)



インフルエンザ発生状況(3年間)



気をつけたい感染症 ～結核～

結核は結核菌によって引き起こされる病気で、わが国の主要な感染症の一つです。新規患者数・罹患率は減少傾向にありますが、毎年新たに2万人程度は発生しており、特に川崎市の結核罹患率は全国平均より高くなっています。結核菌に感染しても、必ずしもすぐに発症するわけではなく、体内に留まったのち再び活動を開始し、約5～10%の人が発症するといわれています。特に身体の抵抗力が落ちている人では、結核を発症するリスクが高くなります。

結核はどんな病気？

- **感染経路**：空気感染（咳やくしゃみに含まれる結核菌を吸い込むことにより感染）
- **潜伏期間**：数ヶ月～数十年
- **症状**：咳、痰、発熱、倦怠感、体重減少、頭痛、意識障害など
* 2週間以上持続する咳が見られる場合は要注意です。
- **治療方法**：抗結核薬の服用（医師の指示どおりしっかり服用することが重要です。）

近年、結核の集団感染がニュース等で取り上げられています。疑わしい症状がある場合には、すぐに医療機関を受診しましょう。



結核罹患率過去5年間比較

